



あなたと議会をむすぶ

議会だより

やえせ

No.
82

令和8年8月発刊

八重瀬町慰霊祭(令和8年6月16日)



港川ハーレー(令和8年6月21日)



八重瀬町公式ホームページでもよめます



一般質問

ここが聞きたい!
14名が問う!

◀ 次のページから

一般質問とは

一般質問は、基本的に定例会(年4回)においてのみ行われ、臨時会では行われないのが通常である。

上程された議題について行われる質疑や討論とは違い、議員主導による政策論議であり、質問事項を通告して行われる。

本町の行財政全般にわたり、行政の課題や、将来の方針、政策提言などが行われる。各議員の質問内容については、町役場ホームページより、「町議会会議録検索システム」や、「議会だより」の二次元バーコード(QRコード)から知ることができる。

 ●農業振興・物価高騰対策について ●甘藷生産振興について ●破名城第二土地改良道路整備について 平良 真也 p4	 ●部活移動安全確保の通達に合わせ どう進めていくのか ●新沖縄振興法見直し 八重瀬町の意見・要望は ●行政改革について p3 玉城 義彦
 ●新生児の命を守り育てるための 助成は ●ナフサ不足による指定ゴミ袋の供給は大丈夫か 新垣 勝夫 p6	 ●インフルエンザの予防接種について ●健診事業について ●東風平運動公園サブ球場のトイレについて p5 砂川 泰秀
 ●育休中の保育利用時間について ●公民館の活用方法に制限はあるのか 島袋 稚菜 p8	 ●2027年LED化にむけて ●町内の土地改良の維持管理について ●土地改良区の解散にむけて p7 金城 秀雄
 ●具志頭交差点の安全を ●学校の安心・安全を ●派遣助成の拡充を 米増 雄二 p10	 ●町内の観光と宿泊機能の強化を ●こどもまんなかの視点で観光振興強化を ●ナフサ供給不安による本町、町内事業者への影響 ●その他 p9 豊川 翔平
 ●農振区域の撤廃を ●非農用地の地主情報を開示できないか 渡嘉敷 真治 p12	 ●議会議員の費用弁償について ●議会から費用弁償の申し出はあったか p11 上原 勝彦
 ●部活動の教育的価値とリスク管理 について ●観光大使の設置について ●西部プラザ公園の整備計画について ●その他 永山 清和 p14	 ●人口増・世帯増に合わせた回収計画を ●目標を設定して外猫ゼロに ●ルールを守る人が損をしない町に ●その他 p13 宮城 勝也
 ●空き家対策計画はどうする ●運転免許返納者への支援は ●狂犬病予防接種の強化を 神谷 清一 p16	 ●ナフサ不足・物価高騰下の町指定ごみ 袋の安定供給と農業資材の調達体制 ●ガバメントクラウド移行後の運用経費増と地域 コミュニティのデジタル化支援 ●その他 p15 秋田 一成





たまき よしひこ
玉城 義彦 議員

**部活移動安全確保の
通達に合わせ
どう進めていくのか**

文部科学省、
国土交通省の通達を
受け協議

【質問】 福島県で部活動の移動中に発生した交通死亡事故を受け、県教育委員会では、5月13日付で県内の教育関連機関宛に移動の際の安全確保の徹底を呼びかける通知を出している。

町内小中学校の部活動における町外への移動方法などの状況、県教育委員会からの通知の内容及びその対応は。

【教育長】 小学校に確認したところ、ハンドボール、サッカー、ミニバスケットボールのクラブ活動における町外の移動方法は、基本的に現地集合・現地解散となっている。遠征があった場合にはマイクロバスをレンタルして送迎する場合もあると聞いている。中学校の部活動等の移動方法については、保護者の方の対応で現地集合及び現地解散となっている。県教育委員会から令和8年5月13日、部活動における移動の際の安全確保の徹底（通知）が発出された。内容は部活動における移動に際し、経路、交通機関、行程及び緊急時の対応等

に十分検討することや、移動の際の安全確認等の徹底である。通知を受け、各小中学校で作成している教育計画に掲載する危機管理等に、部活動における移動の際の安全確保の徹底について新たに盛り込み、各学校と町教育委員会が連携して児童生徒の安全確保に万全を期すよう取り組んでいく。

【質問】 県からの通知の内容については、具体性がない。新聞の記事から、文部科学省が通達した部活動の遠征等における安全確保のための留意点では、部活遠征や校外活動で生徒の安全確保に万全を期す。貸切りバスでの移動を依頼する際は、事業者と適切な契約を締結する。長距離移動の遠征の必要性や公共交通機関の利用を検討する。事故発生に備えた事前の取り組みを実施する。学校組織全体で安心・安全を確保するとの内容。この通達内容を八重瀬町の現状に照らし合わせたときに、どのように進めていくのか。

【教育長】 この事故を受け、文部科学省、移動の手段は国土交通省、会議を5月21日に開催、6月末には両省で子どもたちの安心・安全の確認についての通達を发出するという事になったので、それも踏まえて各学校の教育計画にその内容を盛り込んでいこうと考えている。この文部科学省と国土交通省の通達を受けて対応を協議していきたい。



**新沖縄振興法見直し
八重瀬町の意見・要望は
交通分野、農林水産業
教育分野に関して要望**

【質問】 10年間の期限付で5年以内の見直しが規定され、2022年4月に施行された沖縄振興特別措置法は、今年度で5年目を迎えた。八重瀬町としてどのような意見・要望等を取りまとめているのか。

【町長】 沖縄県では、沖縄振興に関する政策提言の素案を作成し、各市町村や関係団体、県議会、県民から素案に対する意見・要望を募り、令和8年4月にその内容を取りまとめている。町としては、交通分野、農林水産業、教育分野に関して地域の現状を踏まえた意見・要望を行っている。

**その他の質問
●行政改革について**

農業振興・物価高騰 対策について

質問 町内における燃料費・肥料・農業資材等の高騰による農家への影響を、どのように認識しているのか伺う。

町長 八重瀬町においても、農業、畜産業、商工業と多岐にわたり、燃料費、肥料、資材等の高騰は、経営においてきわめて深刻な事態だと認識している。

質問 国・県の物価高騰対策事業について本町ではどのように活用しているのか伺う。

町長 令和8年度の物価高騰対策事業の活用は、



たいら しんや
平良 真也 議員

シーちゃん商品券、水道基本料金の免除、中学給食費の無償化に活用されている。農業支援に対する活用はありませんが、今後、国における補正予算の内容を注視しながら検討していきたいと考えている。

質問 本町独自の追加支援策や継続支援を実施する考えはあるのか伺う。

町長 現在のところ、町独自の支援や継続事業はありませんが、国における補正予算の内容を注視しながら、検討していきたいと考えている。

甘藷生産振興について

質問 町内の甘藷生産状況について伺う。

町長 令和7年度における八重瀬町の甘藷の作付け面積は、13.5haで生産量につきましては、135tとなっている。

質問 基腐病・アリモドキゾウムシの対策について伺う。

町長 令和7年度は、県「かんしょ増産体制事業」において基腐病に強い品種（紅つよし）を受領し、八重瀬町種苗センターにおいて育成し、希望に応じて農家へ配布している。アリモドキゾウムシについては、特に対策しておりません。

質問 バイオ苗配布について伺う。

町長 令和5年度までは、県に対しバイオ苗を要望し、八重瀬町種苗センターで増産し提供していましたが、令和6年度から

は、バイオ苗は要望していません。

破名城第二土地改良 道路整備について

質問 破名城地区における土地改良道路の現状と課題について伺う。

町長 本地区の道路は未舗装の箇所が多く、一部では雨天時に路面の洗掘や水たまりが発生している状況を確認している。また、排水路の整備が十分でない箇所もあり、地域の農家の皆様にご不便をおかけしていると認識しており、今後は、現状の課題を的確に把握し検討していきたい。



質問 道路改良や舗装整備、排水対策など、整備計画があるのかと、国・県事業を活用した土地改良道路整備について伺う。

町長 町の農業農村整備事業管理計画では、農業基盤整備促進事業として、破名城地区における舗装及び排水路の整備を予定しており、必要な工種については地元の意見や相談を踏まえながら検討を進めていく。また、町内の他地区との優先順位を比較検討しながら、事業選択に向けて進めていく。



インフルエンザの 予防接種について

質問 2歳から18歳までの子どもや若年者たちにインフルエンザワクチンの公費助成ができないかを伺う。特に2歳から7歳の子どもの高い予防効果があると言われている経鼻弱毒性生ワクチンに対して公費助成ができないか伺う。

町長 子どものインフルエンザワクチン接種につきましては、現在、予防接種法に定める定期接種の対象となっておらず、接種を希望される方が全額自己



すがわ やすひで
砂川 泰秀 議員

負担で受ける任意接種となっている。経鼻弱毒性生ワクチンを含めたインフルエンザワクチン接種の公費助成については、近隣市町村の実施状況や本町の財政的な状況も考慮し調査研究を行っていく。

健診事業について

質問 厚労省の発表では、①日本の65歳以上の5人に1人、約730万人が認知症になると推計されている。八重瀬町でもかなりの人数が発症するものと思われる。そこで将来的な発症リスクを血液で判定する

MCIスクリーニング検査があります。施政方針にも認知症施策を実施とあるので検査の公費助成ができないか伺う。

②日本人がかかる胃がんの98%はピロリ菌が原因と言われている。患者の多くは高齢者で75歳以上が過半数です。施政方針にも健康の保持、増進、重症化予防に努め、医療費の適正化及び健康寿命の延伸に繋がるよう努めるとあるが、75歳以上にピロリ菌検査を導入できないか伺う。

町長 ①ご提案のMCIスクリーニング検査については、認知症の前段階である軽度認知障害の段階でリスクを把握し、早期発見、早期対応に役立つ大変有効な手段と認識して



いる。しかし公費助成の実施については現時点では慎重な検討が必要と考えている。国の動向や近隣市町村の実施状況、町の財政的な課題も含め調査研究を行っていく。

②については検討を進めてきたが、本町のがん検診は健康増進法に基づき、胃がん、肺がん、大腸がんの検査を実施している。実施方法は集団検診と個別検診を設けている。75歳以上を対象としたピロリ菌検査の導入は国の動向や近隣市町村の実施状況、実施に伴う財政的な課題も含め引き続き調査研究を行っていく。

東風平運動公園サブ 球場のトイレについて

質問 ①サブ球場の男性トイレは扉がなく、丸見え状態で保護者から苦情が出ているが町としての対策を伺う。

②サブ球場のトイレは全て和式だが洋式に改修する計画はないか伺う。

町長 ①について目隠し壁の設置を進めることで利用者及び来場者への配慮を図っていく。

②については洋式トイレへの改修を可能な限り速やかに具体的な対応を検討する。





あらかき かつお
新垣 勝夫 議員

新生児の命を守り育てるための助成は

総合的に勘案し検討していく

質問 胎児の先天性心疾患を早期に発見し、出生後の速やかな治療につなげるため長野市は今秋から全国初の事業、妊婦の腹部に超音波を当てて胎児の心臓を調べる「胎児心エコー」の検査費用の一部助成を予定している。

鹿児島県日置市は、低出生体重児（リトルベビー）と、その家族の経済面サポートを目的に搾乳機の購入費・レンタル費や、母乳保存パック購入費を助成する「低出生体重児等支援事業」を今年度から

実施するが、八重瀬町の助成、今後の見解を伺う。

町長 長野市や鹿児島県日置市の取り組みは、胎児の健やかな成長支援や子育て世帯の経済的負担軽減に資する先進的な取り組みであり有用性があると考えている。

現時点で事業実施の予定はないが、今後、国の補助事業や県の支援策の動向、本町の財政状況を総合的に勘案し検討していく。

質問 八重瀬町の年間出生数と、先天性心疾患の

新生児数は把握しているか。

児童家庭課長 令和7年度、出生数は318名で、先天性心疾患数は5名である。

質問 これまで、搾乳機や母乳保存パック購入費用について、相談や要望が寄せられた事は有るか。

児童家庭課長 これまで、相談や要望はない。

質問 八重瀬町においても、安心して出産・子育てができる環境の充実が求められていると考えるが。

健康保険課長 今後検討していく。



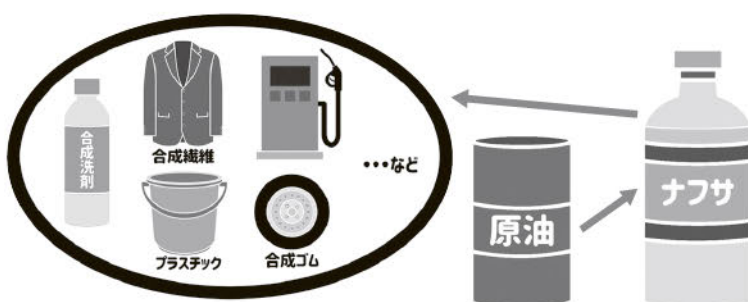
ナフサ不足による指定ゴミ袋の供給は大丈夫か

指定ゴミ袋の供給体制は維持されている

質問 軍事衝突により事実上「ホルムズ海峡閉鎖」となっている。特に日本は、中東から輸入する原油の多くをこの海峡経由に頼っているため、海峡閉鎖により原油が不足している。原油から作るナフサも不足し、プラスチック・ラップ・塗装・シンナーなどあらゆる分野で影響が出ているが、町民の生活に直結する指定ゴミ袋の供給について伺う。

町長 テレビや新聞等でゴミ袋の不足状況が報道されて、本町のゴミ袋の買いだめが増加し、店頭在庫が少なくなっている状況ではあるが、現時点で、指定ゴミ袋の供給体制は維持されている。

将来のリスクに備え、代



替策として市販の45リットル以下のポリ袋に貼りつける「シール式」のゴミ処理券で対処できるよう取り組み。この機会に町民の皆様には、ゴミの減量化や分別の徹底、限りある資源の有効活用とゴミ排出量の抑制にご理解、ご協力をお願い申し上げます。

質問 蛍光ランプの製造、輸出入が2027年末で全面的に禁止される。今後、多くの現場でLED化の対策が必要となる。①②③を伺う。

①町の公共施設や、各地域の街灯等のLED導入にむけての計画。

②各家庭への周知。

③国、県からの補助金は見込めるのか。

町長 ①現時点では、学校や東風平運動公園施設など約27箇所の公共施設が非LED照明の状態となつているため、必要とな



▲今後LEDへ交換が必要な街灯

る予算の算出や導入方法の検討を行い進めていく。自治会の公民館の照明や防犯灯・街灯のLED化に対し、独自の補助金により改修事業として助成は行っているが、限られた財源の中で行っている状況である。

質問 多面的交付金は、土地改良区の農道の管理、側溝に詰まった泥の撤去などや、地域の伝統文化の行事に活用される交付金で

町内の土地改良の維持管理について
主に「多面的機能支払交付金事業」における活動組織が対応している

2027年LED化に向けて

予算の算出や導入方法を検討し進めていく



きんじょう ひでお
金城 秀雄 議員

②町の広報誌やホームページ、SNSを活用した情報発信を行い、周知していく。

③国、県から現時点では利用可能な補助金は確認されていないが、今後、新たな補助制度を創設する可能性を見据えて、情報収集を行っていく。

ある。①②③を伺う。

①町内の土地改良区の浸透池の数、ため池の数と維持管理の状況。

②地下ダムの維持管理の状況。

③町道と農道が混在している維持管理の状況。

町長 ①町内には、浸透池11箇所、ため池4箇所、沈砂池14箇所、これらの維持管理は主に「多面的機能支払交付金事業」活動組織が対応している。ただし、土砂処分に関しては、この交付金で支出できないため、事前協議で、優先順位を設定し、町が土砂処分を対応している。また、「多面的機能支払交付金事業」に基づく活動組織が存在しない浸透池なども同様である。

②国営かんがい排水事業の「沖縄本島南部地区」の受益地には、八重瀬町土地改良区が8地区、その中に同事業で整備した仲座ファームポンドと慶座ダ

ムがある。本施設は「沖縄本島南部土地改良区」が維持管理し、その負担金は、糸満市と八重瀬町が受益面積に応じ応分負担をしている。

③町道は、主にシルバー人材センター、農道は、シルバー人材センターや多面的機能支払交付金事業活動組織と調整しながら維持管理を進めている。

その他の質問
●土地改良区の解散にむけて



▲土地改良事業を終えたにも関わらずまだ解散していない地域





しまぶくろ わかな
島袋 稚菜 議員

育休中の保育利用時間について

八重瀬町では原則、育休中は短時間保育となっている。今後は園と調整しながら、育休中の保育利用時間について調査研究していきたい

質問 前回の3月定例会にて、八重瀬町では児童家庭課の窓口にて申し出をした場合、「生まれた子の状態や家庭状況等を考慮の上、標準時間が必要だと判断した場合は配慮している」との答弁があった。申請をした方の中でも、標準時間で利用できる場合とできない場合があるのか。

町長 母親や生まれた子の状態、家庭状況等、様々

な事情を総合的に考慮し、上のお子さんの標準保育時間での利用が不可欠であると判断した場合に限り配慮している。

質問 誰がどのような基準を元に判断しているのか。

児童家庭課長 児童家庭課長、担当班長、実務を担当する職員数名での合議制をとっている。

質問 基準がないということであれば、担当課長

や班長、職員等が変われば基準が変わるということか。

児童家庭課長 複数名で協議を行うことで職員間での共有と認識の統一を図っている。

質問 生後3か月から短時間保育に切り替わるこの制度自体が、母親にとって負担になっている。うるま市では育休中は標準時間で利用できるようになっていたが、八重瀬町ではどのように進めていく予定か。

児童家庭課長 結い保育園でのアンケート調査結果を拝見して、標準時間保育を望む保護者の方が多いと感じた。園と調整しながら今後、調査研究していきたい。



公民館の活用方法に制限はあるのか

社会通念上、施設の風紀を乱すものでなければ、各自治会等で独自の規定を設けて利活用できる

質問 公民館の建設時に利用した補助メニューや建物の名義、指定管理であるかどうか等の状況によって活動内容に制限があると同ったが、それはないという理解で良いか。

企画財政課長 認可地縁団体は、自治会の規約改正があった場合に役場の承認をもらわないといけないが、活動を制限するものではない。

質問 ある自治会では、公民館の活用がない空き時間に、子どもたち向けの体操教室を行っている。団体に公民館を貸して、使用料をもらっている。そういった団体に貸し出す

しすることに制限はないのか。

総務部長 社会通念上、一般的に施設の風紀を乱すものでなければ、各自治会で規定を設けて貸し出しすることは可能かと。

質問 公民館の活動を活発にすることで、区民の出入りを増やしたり、地域コミュニティの活性化を促したり、自治会への加入率を高められるのではと考えている。施政方針の中でも公民館の活用や地域コミュニティの活性化をしていきたいというたっている。町が先陣をきって進めてほしい。

総務部長 不足している運営費や修繕費の補助等は行っている。自治会活動は自助になるので、行政側の支援と住み分けをしながら共に進めていきたい。

町長 宿泊機能の不足は、地域内消費の拡大に大きく影響する重要な課題であると認識している。観光客が町内に滞在し宿泊することで、飲食、買い物、体験プログラムの利用など、

質問 本町は通過型観光の傾向が強く、地域内消費（地域に観光のお金落ちていない）に結びついていないと考えられる。

町内の観光と宿泊機能の強化を観光客数と観光消費額の実態調査を進める



とよかわ しょうへい 議員
豊川 翔平



地域内での消費機会が増加し、地域経済への波及効果が期待される。しかしながら、現在、本町では観光入込客数も観光消費額等の実態把握が十分ではないことから、第2次観光振興基本計画期間中に実態調査を実施し、現状分析を進める。

質問 子どもや子育て世帯の方々が気兼ねなく制度やサービスを利用できるように、地域社会、企業など様々な場で、年齢や性別を問わず、すべての人々が子どもや子育て世帯の方々に応援する、社会全体の意識改革を後押しすることを目的としたこども家庭庁が推進する「こどもまんなかアクション」という取り組みがある。

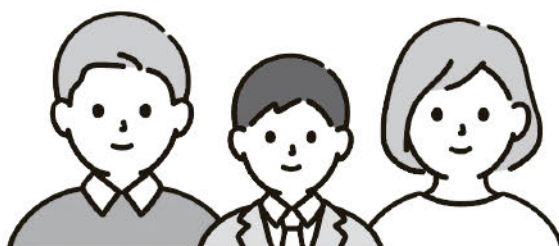
こどもまんなかの視点で観光振興強化を有効な視点であると認識している

観光振興において、「こどもまんなか」の視点を取り入れる考えはあるか。

町長 こどもまんなかの視点は、観光客の満足度向上だけでなく、地域に暮らす子どもたちや子育て世帯にとっても過ごしやすい環境づくりに繋がるものであり、関係人口の創出や定住促進の観点からも有効な視点であると認識している。観光分野においてもこどもまんなかの視点を取り入れながら、地域資源を活用した環境学習や平和学習、体験型プログラムなど、子どもたちの学びや成長につながる取り組みの充実を図り、地域全体で子どもたちを応援する機運の醸成につなげる。

要望 私も子育てをするなかで、飲食店に行く際は子どもが座れる椅子があるお店に行こうという視点になっている。町として取り組み、こどもまんな

か観光と銘打って、子育て世帯が旅をしやすい町をアピールできると考える。ぜひ前向きに取り組んでいただきたい。



その他の質問

- ナフサ供給不安による本町、町内事業者への影響
- 温暖化対策と地域経済循環
- 法定外目的税



よねます ゆうじ
米増 雄二 議員

具志頭交差点の安全を

矢印式信号機への改良に関する
要請書を早急に調整

質問 時差式信号ではないことにより、無理な右折や信号無視をする車両も見受けられ、人身事故につながる危険性があると考えているが、町としての認識を伺う。また、交通安全対策として、時差式信号への変更について警察と関係機関への町から働きかけができないか伺う。

町長 糸満警察署と時差式信号機の導入に向けて調整したが、十字路交差点における時差式信号機の運用見直しにより、導入

は難しいとの回答を得ている。

しかしながら、当該交差点については、矢印式信号機の設置が検討可能であると糸満警察署から回答を得たため、矢印式信号機への改良に関する要請書を調整し、今後の設置について判断していく。

質問 申請書の調整はいつ頃を考えているのか。

総務部長 区長さんに一度話をし調整をした上で早急に提出したい。

学校の安心・安全を 計画的な設置を検討

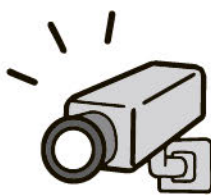
質問 事件、事故の抑止及び発生時の早期解決の観点から、幼稚園、小中学校への防犯カメラ、監視カメラの導入が必要と考えるが、現在の町内学校の設置状況、今後の町の考えを伺う。

教育長 現在、防犯カメラが設置されている学校は、東風平小学校と東風平中学校になっている。防犯カメラの設置は、不審者の侵入の抑止や事件、事故等が発生した際の迅速な状況把握に有効な手だてだと認識している。現在、未設置となっている学校についても、今後の予算等を勘案し、計画的な設置を検討する。

質問 文部科学省の資料があったので、これ使えるんじゃないのかなと。400万円ぐらいの補助

金が2分の1、3分の1であるというようなところがあるので、その辺ちよつと詳しく調べていただくのは、可能か。

次長 資料を見ている限りは、令和5年度から令和7年度までの集中的な支援とあるがこの補助金、恐らく見ている限りは続いているようなところも見受けられるので、そこは調べて、ぜひ活用していきたいと考えている。



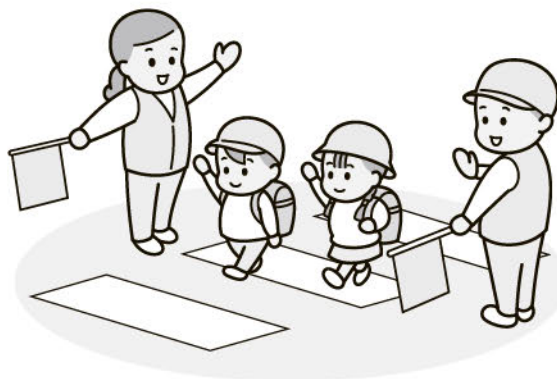
派遣助成の拡充を

質問 現在の助成制度は主に児童生徒、小中学生が対象となっていると認識しているが、沖縄県の助成制度と連携しながら、町内在住の高校生についても助成対象を拡充

し、夢や挑戦を継続できる環境づくりを行う考えがないか伺う。

教育長 近隣市町村を参考にしながら検討。

意見 南城市を参考にお願いしたい。





うえはら かつひこ
上原 勝彦 議員

議会議員の費用弁償について

議論し改めて検討していくべきと思う

質問 今年度の一般会計予算も238億円、過去最大の規模を計上し大型事業が計画され、事業推進が進み、八重瀬町の将来に大きな期待を抱く。今回の一般質問においては、財政支出も多大な中、議員の一人としてタブー視されている費用弁償について町長の見解を問う。

町長 職務を遂行するための費用を弁償する制度です。議員が議会の招集に

応じ、出席、公務のために支給されるものだと思っている。

質問 旧東風平町は各公務ごとに2千円支給、旧具志頭村は千円支給の記憶をしている。財政が厳しい中で、議会が自ら廃止すべきだと記憶している。今後財政が好転するまで費用弁償廃止にすべきだろうとの事であった。答弁で慎重な検討が必要であるとの事だが議会から費用弁償についての申出はあったか伺う。

議会から費用弁償の申し出はあったか

要請という形では提えていない

総務部長 議会事務局からアンケートの報告という形でいただいている。これが議員からの要請という形では捉えてなく、議員からの提案の要請が上があれば検討すべきだろうとの形となっている。

質問 費用弁償については当時の議長で議会運営委員会を中心に協議した結果、千円が妥当で、改選後でということ、要請がいったものだと思われている。要請じゃなく、報告で捉えたとしても、どれくらい検討したか。

総務部長 正式な文書での話ではなく、口頭というか、議会事務局のほうから内容の話は伺ってなく議論のテーブルに載せていない。

質問 費用弁償の在り方について見直すべき時期にきている。飛躍的に財政状況は好転しているのか、足踏みなのか。

総務部長 財政状況は合併前に比べるとよくなってきている。

費用弁償の在り方については、ほかの委員の足並みをそろえる必要がある。

質問 議会議員への費用弁償の在り方については各種委員と別物だと言われている。同等のもので謳われているわけではない。中身の検討を実際に執行部の中でやったのか。

総務部長 庁議の中で話があったと思う。

質問 費用弁償、報酬審議会に諮問することではないと思うが。

町長 しっかり議論してから方向性を出して、改めて検討していくべきことかと思う。





とかしき まさはる
渡嘉敷 真治 議員

農振区域の撤廃を

撤廃は難しく
見直しは可能である

質問 字世名城は、ハルヤーが3箇所（知念バルヤー、樋川バルヤー、上バルヤー）あり、それぞれが本集落と数百メートル位離れている。原因は、本集落と各ハルヤーとの間が、農振区域となっており、住宅の建築ができなからである。字世名城をひとつの集合体にすれば、人口増加、地域発展にもつながる。そのような利益を阻害している農振区域については、撤廃するべきだと思うが町当局の見解を伺う。

経済建設部長

農振区域の

撤廃は非常に困難であるが、農用地の見直しについては可能である。法律上は、農振区域の端の方から徐々に見直していくという基準である。ただ、見直しをするにあたっては町当局の方でも細かい基準があり、住宅をここでしか造れない理由がある方とか、農振法上の見直しに合致した場合に可能となるので、徐々に本集落とハルヤーが近接していくという形になると思う。

要望

撤廃ではなく、見直しが可能ということでは、少しずつでも進めてほしい。

非農用地の地主情報を開示できないか

職員一丸となって協力する

質問

字世名城には、4

区画に分けられた非農用地が存在するが規制緩和に向け、町の都市整備課が業務を推進していることは、非常にありがたい。現在、非農用地の地主である豊川議員、元役場職員、私の3名で規制緩和に向け、地主の同意を得るために他の地主を探しているが、順調には進んでいない。

役場では個人情報の保護ということで、教えてもらえない。効率的に地主を探すためには、都市整備課と連帯してやっていきたい。

経済建設部長

町としても、非農用地の規制緩和については、沖縄県の方に地区計画を活用できるようにと話している。都市計画マ



スタープランにも上位計画に記載され、長年の課題でもあるので、協力して地区計画を策定したい。富盛側の方は、地主合意は取れたということですので、残りの地区も成功させるよう、職員一丸となって協力していく。地主会から不明な所有者についての相談があれば、町の方から、不明者に対して説明会の通知文を送る等の協力をしますので、町も一緒に連携してやっていきたい。

要望

非農用地の地主会には、地主の名簿を作成するつもりですが、個人情報については、熟慮した上で教えていただきたい。



質問 次年度、町一般廃棄物処理基本計画が改定される。人口増・世帯増に合わせて回収事業者を増やすなど将来的な収集体制の維持・強化及び公共サービスとしての透明性・公平性を確保するための契約・選定の在り方について、どのように考えているか。

町長 収集ルートの効率化や回収業者の在り方などについて、計画策定時において慎重かつ十分な検

**人口増・世帯増に合わせた回収計画を
家庭ごみ1袋の重さはおおむね7キロまで**



みやぎ かつや
宮城 勝也 議員

討を行い、必要に応じて計画へ反映していく。

民生部長 ごみ回収について苦情・意見が寄せられている。家庭ごみの重さについて統一されていない。1袋あたりおおむね7キロまで」と整理した。現在、町内6事業者と随意契約により業務委託している。今後の契約方法や新規参入についても検討していく。

**目標を設定して
外猫ゼロに**

目標設定に向け
実態調査を検討

質問 本町にどのくらい

の外猫がいて、年間何匹対応すれば外猫がゼロになるか。明確なゴール設定が必要ではないか。そのための実態調査が実施できないか。

民生部長 ふるさと納税で実施している保護猫団体補助金には目標が設定されていない。外猫が何匹いるか把握できていないために設定ができない。簡易情報の収集を視野に入れながら、段階的に情報を収集し、目標設定を検討していきたい。

企画財政課長 さくら猫事業に対して集まっているふるさと納税は、その目的を達成するものであれば、実態調査費は活用できるものと考えている。



**ルールを守る人が
損をしない町に**

パークゴルフ場
入場口を見直す

質問 まつり会場でのごみ放置、体育施設での迷惑駐車、パークゴルフ場の不正利用、公共施設内での喫煙など、モラルに訴えるだけでなく「真面目にルールを守る町民が損をしない」ための実効性ある環境改善や仕組みづくりに向けた町の見解を伺う。

教育長 大会主催者への協力依頼や役員配置、ルール遵守の徹底などに取り組む。また、中学生など青少年の見守りも実施していく。

副町長 一言で言うともラルの問題。行政としては看板設置による注意喚起に加え、スピーカーによるアナウンスなど管理方法を検討していく。

社会教育課長 パークゴルフ場への導線を、管理棟西側入口の入場口に見直したい。



▲迷惑駐車が救急車の妨げに
(東風平体育館)



▲エイサー祭り会場に放置された酒盛りのあとのゴミ

その他の質問

- 深夜帯の騒音対策について
- 町民提案型まちづくり事業について
- ボランティアセンターについて
- 議会事務局体制の充実について

部活動の教育的価値 とリスク管理について 教育委員会と連携して 対応する

部活動の教育的価値は、生徒の生命と安全が確保されて初めて成り立つものであり、安全が担保されない環境においては、本来の教育的意義が損なわれる。

質問 ①安全管理や緊急時対応について、学校および教育委員会はどのように関与しているのか。
②移動手段や運転体制に関する基準は整備されているのか。

教育長 ①安全管理や緊急時対応については学校



ながやま きよかず
永山 清和 議員

の教育計画にのっとり、教育委員会と連携して対応する。

②運転体制に関する基準は整備されていない。部活動の移動手段は保護者等の自家用車等による現地集合及び現地解散が原則となっている。



観光大使の設置に ついて

慎重に検討を進めている

観光大使は、その知名度や発信力を活かして

地域の魅力を広くPRするものであり、特に、合併20周年という節目は、これからのまちづくりの方向性を示す重要な機会である。

本町の魅力を内外に発信する新たな取り組みとして、観光大使制度を創設することは、非常に意義のある施策であると考えている。



質問 ①観光振興の現状と課題、特に情報発信力の強化についてどのように認識しているか。

②本町独自の観光大使制度を創設する考えはないか。

町長 ①本町には、豊かな自然や歴史・伝統文化、特産品など多くの観光資源があるが、一方でそれらの魅力を効果的に発信でき

ていない現状がある。

行政による発信だけでなく、知名度や発信力を有する個人の力も活用しながら、本町の魅力を継続的に発信していくことが重要であると考えている。

②観光大使の選考基準の公平性や活動内容の継続性、また費用負担や運営体制の在り方など、整理すべき課題もあることから慎重に検討を進めている。

西部プラザ公園の 整備計画について

整備工事は、早くても
令和10年度以降

令和6年度には当該未買収用地を含む形で西部プラザ公園西側広場測量設計委託業務が完了している。

用地取得が未了のままでは当然ながら工事着手は困難であり、結果として設計そのものが実現できない、いわゆる実施不能設計となる。

質問 ①30年間も放置状態。従来型の交渉だけでは

解決はかなり厳しいと思う。行政としての課題整理や対応方針について検証が必要だと考える。

町長 今年度は相続関係図の整理作業を改めて再開している。全ての相続人を特定し、公園用地取得に向けた手続を進めていく。また、整備箇所については、年次計画に沿って整備を進めていく。



▶西部プラザ公園西側整備工事
予定箇所

その他の質問

●上杉邦憲様 お別れの会について

質問 ナフサ不足・物価高騰で町指定ごみ袋の流通に遅れはないか。在庫見通しと安定供給体制は。

民生部長 3月末は6か月分の在庫を見込んだが、4月以降の買いだめで品薄。8年度分は契約済みで6月から順次供給する。代替策として、市販の45リットル以下のポリ袋に貼るシール式処理券で対応し、早ければ8月1日から配布したい。シールは製作に1〜2か月かかるため事前に作成を進める。

ナフサ不足・物価高騰下の町指定ごみ袋の安定供給と農業資材の調達体制

ごみ袋不足は「シール式」で対応



あきた かずなり
秋田 一成 議員

質問 農業資材の調達難・物価高騰、台風への備えは。

町長・経済建設部長 J A から肥料等の高騰で農家経営が圧迫との報告がある。台風で具志頭地区のハウスや露地のオクラ等にも被害が出ており、J A 等と連携し対策を検討する。

総務部長 国からの重点支援交付金の追加配分約1,700万円の充当は被害状況や担当課と調整しながら検討する。

質問 標準化で令和7年度と8年度の当初予算の差は。国の支援策の活用は。

総務課長 使用料は昨年度計約3,300万円に対し今年度予算約8,300万円と約5,000万円増。最適化計画を国に提出済みで、3年で経費を抑え、令和9年3月に承認されれば補助金が交付される計画。

ガバメントクラウド移行後の運用経費増と地域コミュニティのデジタル化支援

標準化で運用経費は約5,000万円増。3年で抑制を



質問 自治会のデジタル化支援は。広報紙配布や字費徴収の事務負担を軽減できないか。

総務部長・総務課長 広報紙の全戸配布はやめ、LINEやInstagram等で発信している。字費徴収もPay Pay等の活用がある。自治会長の顔の見える形を重視する意見を聞きながら、デジタル化支援を検討していく。

東風平運動公園体育館の屋根修繕に係る補助金活用の進捗

躯体と屋根を分離し、屋根に特化した計画へ

質問 3月議会で県と調整中とされた屋根修繕。約3か月経過後の進捗は。

教育長・教育施設課長 長寿命化計画で躯体と屋根を一体とした従来計画では修繕費が大きい。県の助言を踏まえ両者を分離し、屋根に特化した計画へ

変更する方向で進めている。引き続きハード交付金を要望する。

◀体育館雨漏り写真



その他の質問

- 買いだめ防止とシール偽造対策等の周知について
- クラウドの独自利用とDXに精通した専門職の配置について
- 電子回覧板を補助する東京都の自治会DXの先行事例



かみや せいいち
神谷 清一 議員

空き家対策計画は どうする

策定に向けて調査
する

質問 令和3年12月議会で町内に空き家は97件、危険な特定空き家が64件あると答弁したが、その後調査はしたのか。空き家対策計画の進捗状況は。

町長 その後に空き家の再調査はしていないが、今後計画策定に向けた調査を進めていく。

質問 空き家の利活用及び危険な空き家の安全対策は。

町長 現状は、所有者や利用希望者からの問い合わせは数年に1回しかないという状況である。危険な空き家の安全対策は住民環境課と連携し対応している。

運転免許返納者への 支援は

バス・モノレールは
50%割引に

質問 高齢者が安心して暮らせる支援制度として、運転免許返納者に対する支援の内容は。また、交通弱者支援として、南部徳洲会病院の運行バスを利用した外出支援や高齢者

のお出かけサポート事業があるが、その利用状況、町の財政負担はどうか。

町長 運転免許証を返納された方は、高齢者に限らず運転経歴証明書を提示すれば路線バスの運賃が50%、タクシーの運賃が10%割引になる。

また、南部徳洲会病院運行送迎バスの令和7年度の総事業費の委託料として233万円、お出かけサポート事業の総事業費が車両のレンタル料及び燃料代で116万円の実績である。

利用状況は、送迎バスが累計で2,543人、お出かけサポート事業は累計138人が利用している。

狂犬病予防接種の 強化を

頭数の実態把握に
努める

質問 他の市町村と比較しても狂犬病予防接種

率は低い状況であるが、実態の把握が不十分ではないか。

予防接種をしていない方への周知や対策はどうなっているか。

町長 令和7年度の犬の登録頭数2,249頭に對し、予防注射済頭数は1,082頭で予防接種率は48.1%となっている。

接種率が低い原因は、狂犬病に対する危機感の薄れや予防接種の必要性の認識が十分に広がっていない状況にある。

質問 南風原町の予防接種率は68.5%で本町よりも20%も高い。予防接種の場所は2か所なのに、動物病院と連携して接種率の向上につなげている。

さらに、未接種世帯に再度ハガキで案内をしているが、本町でもこれを参考に対策を強化できないか。

民生部長 担当課としては登録者の犬の頭数の確認と予防接種をした後の未接種の飼い主に対しての通知等を行いながら予防接種率を上げていく取り組みをやりたい。

令和7年度 市町村別予防注射率

No	市町村	登録頭数 (年度末現在)	予防注射 頭数	予防注射率 (R7年度)	予防注射率 (R6年度)	前年度比	評価
1	国頭村	290	185	63.8%	58.5%	↑ 5.3	△
2	大宜味村	199	107	53.8%	55.1%	↓ -1.3	△
3	東村	119	102	85.7%	89.8%	↓ -4.1	◎
4	今帰仁村	698	288	41.3%	42.9%	↓ -1.6	×
5	本部町	653	361	55.3%	33.1%	↑ 22.1	△
6	名護市	3,102	1,377	44.4%	42.6%	↑ 1.8	×
7	伊平屋村	46	38	82.6%	67.3%	↑ 15.3	◎
8	伊豆名村	64	43	67.2%	68.6%	↓ -1.4	△
9	伊江村	222	161	72.5%	64.7%	↑ 7.8	◎
10	宜野座村	478	277	57.9%	60.8%	↓ -2.9	△
11	恩納村	716	312	43.6%	42.9%	↑ 0.7	×
12	金栄町	678	302	44.5%	47.3%	↓ -2.8	×
13	読谷村	2,345	1,461	62.3%	54.6%	↑ 7.7	△
14	うるま市	6,707	2,952	44.0%	42.0%	↑ 2.0	×
15	瀬戸名町	490	246	50.0%	48.2%	↑ 2.0	△
16	沖繩市	5,699	3,135	55.0%	48.7%	↑ 6.3	△
17	北谷町	1,825	927	50.8%	57.9%	↓ -7.1	△
18	宜野湾市	3,333	1,934	58.0%	56.0%	↑ 2.0	△
19	北中城村	899	587	65.3%	53.0%	↑ 12.3	△
20	中城村	939	518	55.2%	56.3%	↓ -1.1	△
21	清和村	3,631	2,200	60.6%	58.9%	↑ 1.7	△
22	那覇市	7,695	5,064	65.8%	63.1%	↑ 2.7	△
23	豊田町	30	17	56.7%	81.3%	↓ -24.6	△
24	久米島町	315	257	81.6%	76.4%	↑ 5.2	◎
25	渡嘉敷村	7	6	85.7%	87.5%	↓ -1.8	◎
26	渡嘉敷村	36	23	63.9%	82.9%	↓ -19.0	△
27	読谷村	35	22	62.9%	52.4%	↑ 10.5	△
28	北大東村	12	12	100.0%	92.9%	↑ 7.1	◎
29	南大東村	98	89	90.8%	99.0%	↓ -8.2	△
30	西原町	1,155	729	63.1%	50.9%	↑ 12.2	△
31	与那原町	800	507	63.4%	55.0%	↑ 8.4	△
32	南風原町	1,345	921	68.5%	59.6%	↑ 8.8	△
33	南城市	3,271	1,547	47.3%	55.7%	↓ -8.4	×
34	豊見城市	2,475	1,544	62.4%	59.8%	↑ 2.6	△
35	八重瀬町	2,249	1,082	48.1%	51.4%	↓ -3.3	×
36	糸満市	2,670	1,324	49.6%	51.9%	↓ -2.3	×
37	宮古島市	2,821	1,779	63.1%	60.2%	↑ 2.9	△
38	多良間村	57	55	96.5%	83.6%	↑ 11.1	◎
39	石垣市	2,819	1,382	49.0%	53.1%	↓ -4.0	×
40	竹富町	224	197	87.9%	77.3%	↑ 10.6	◎
41	名部国前	65	41	63.1%	45.6%	↑ 17.5	△
	県全体	61,312	34,111	55.6%	53.5%	↑ 2.1	△

第4回定例会で決まった注目案件①

■【同意案件】:1件

●副町長の選任について

本町副町長の石川勝弘氏が令和8年6月12日に任期満了となるので、再び同氏を副町長に選任したいため。

同意



■【補正予算】:2件

●一般会計補正予算[第2号] (85,802千円を増額) 総額238億32,188千円に。

可決

総務課 | 自治宝くじ備品(コミュニティ助成事業)

251万円

理由は:一般財団法人自治総合センターの行う一般コミュニティ助成事業を活用し、町内14の自治会に対してコミュニティ活動に必要な備品の整備を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図る。



住民環境課 | 一般廃棄物処理基本計画策定委託業務

200万円

理由は:本計画は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下、「廃棄物処理法」という)及び「八重瀬町廃棄物の処理及び清掃に関する条例」の規定に基づき策定するもので、長期的・総合的視点に立って、計画的なごみ処理及び生活排水処理の推進を図るための基本方針となるものである。



学校教育課 | 地域スポーツクラブ活動体制整備委託業務

970万円

理由は:休日の地域展開だけでなく、平日からの地域展開ができるようにするための課題への検討とクラブ活動を行う生徒と、それを指導する環境について、セキュリティ管理を強化するために、クラウドカメラを設置する。



企画財政課 | 友寄県道48号線沿道地区区画整理検討業務

748万円

理由は:当該地区は、令和7年度に国際物流拠点産業集積地区に指定している。企業誘致の観点から土地区画整理事業の実現可能性調査を実施したいため。



●国民健康保険特別会計補正予算[第1号] (2,504千円を増額)

総額42億37,166千円に。

可決

第4回定例会で決まった注目案件②

■【専決処分】:2件

税務課 | 八重瀬町税条例の一部を改正する条例の承認を求めることについて

承認

理由:地方税法の一部を改正する法律が、3月31日に公布され原則として4月1日から施行されることに伴い、町税条例の一部を改正する必要があるが、議会を招集する時間的余裕がない事により専決処分する。

1.軽自動車税「環境性能割」の廃止 2.個人住民税(町民税)に関する改正 3.固定資産税に関する改正

健康保険課 | 八重瀬町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認を求めることについて

承認

理由:地方税法の一部を改正する法律が、3月31日に公布され原則として4月1日から施行されることに伴い、町国民健康保険税条例の一部を改正する必要があるが、議会を招集する時間的余裕がない事により専決処分する。

1.子ども、子育て支援納付金分の新設 2.保険税の賦課限度額の引き上げ 3.保険税の軽減判定所得基準額の引き上げ

■【条例改正】:4件

総務課 | 八重瀬町選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例について

理由:選挙公報の配布期限(2日前を前日に)について見直す。

可決

社会教育課 | 八重瀬町体育施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

理由:近年の維持管理費の増大を踏まえ施設使用料を近隣市町村並みへ改正する。

可決

社会教育課 | 八重瀬町スポーツ観光交流施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

理由:近年の維持管理費の増大を踏まえ施設使用料を近隣市町村並みへ改正する。

可決

住民環境課 | 八重瀬町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について

理由:一般廃棄物処理手数料に新たにごみ処理券(20円/枚)を規定する。

可決

■【契約関連】:3件

土木建設課 | 具志頭地区農業用排水路施設整備工事(R7)の 変更請負契約の締結について

可決

学校教育課 | ICT教育強化事業(電子黒板)の備品購入契約の締結について

可決

学校教育課 | 学習用端末整備事業の備品購入契約の締結について

可決

■【その他】:1件

総務課 | 指定管理者の指定(富盛中央公園)について

可決

定例会(令和8年6月) | 議案等件数 25件





陳情審査結果

総務厚生常任委員会 (7月23日)

第14号 有機フッ素化合物(PFAS)による
汚染源の特定と根本解決を求める陳情

永山 清和	玉城 義彦	島袋 稚菜	宮城 勝也	渡嘉敷 真治	上原 勝彦
採択	趣旨 採択	趣旨 採択	趣旨 採択	不採択	趣旨 採択

経済産業文教常任委員会 (6月10日)

	新垣 勝夫	野原 邦男	豊川 翔平	米増 雄二	平良 真也	秋田 一成	砂川 泰秀
第3号 県産品の 優先使用について	採択	採択	採択	採択	採択	採択	採択
第4号 「義務教育費国庫負担 堅持及び2分の1復元」 のための意見書採択を 求める陳情	採択	採択	採択	採択	採択	採択	採択
第5号 「30人以下学級早期 完全実現」のための 意見書採択を求める 陳情	採択	資料 配布	採択	資料 配布	採択	採択	採択



決 議

議長等議員人事における 公平・公正な選出のための決議

令和4年及び令和7年の議長選挙を巡り、外部からの投票依頼や投票確認、威圧的言動、誹謗中傷を示唆する発言など、議員の自由な意思決定を損なうおそれのある事案が生じました。

議会はこれを重く受け止め、地方自治法第132条に定める議会の品位保持の観点からもあってはならないことであり、極めて重く受け止めなければなりません。

八重瀬町議会は、議員一人ひとりが議会の品位と民主的運営の重要性を再認識し、不当な圧力、威圧的言動及び誹謗中傷等に左右されることなく、自由かつ公正な議会活動を行うことを確認するとともに、透明で開かれた品格ある議会運営及び公平・公正な議会人事の実現に努めることを強く決意し、ここに決議します。

町議会議員の表彰

全国町村議会議長会自治功労者表彰

新垣 正春 議員

在職15年以上表彰

多年にわたり、町政の発展と住民福祉の向上に尽力された功績が認められ、表彰されました。



上原 勝彦 議員

在職27年以上表彰

永年にわたり、町政の発展と住民福祉の向上に尽力された功績が認められ、表彰されました。

お二人の長年にわたるご尽力に、心から敬意を表しますとともに、今後ますますのご活躍を期待いたします。



八重瀬町議会 YouTube配信スタート!

令和8年4月臨時会から、本会議のYouTube配信を開始しました。スマートフォンやパソコンから、いつでもどこでも議会の様子をご覧ください!



スマホでいつでも視聴!



パソコンでじっくり視聴!



町民みなさんの
議会です!

YouTubeチャンネルはこちら



ぜひチャンネル登録
をお願いします!



＼ 町民からの一言 ＼

令和8年度「町民提案型まちづくり事業」に採択された2団体の代表者の方に一言いただき掲載いたします。お寄せいただいたご意見を、施策に反映できればと思います。

志多伯自主防災会

会長 神谷 常夫
(かみや つねお)さん

令和6年4月に八重瀬町で
3番目の自主防災組織として
設立しました。

区民の防災意識の向上、
各世代間交流による地域
コミュニティづくりを図ります。



つみ木aroma

代表者 比屋根 リカ
(ひやね りか)さん

つみ木aromaは、このたび八重瀬町まちづくり事業
に新規採択をいただきました。ありがとうございます。

香りを通して、地域の皆様の健康づくりや世代を超
えた交流を育み、八重瀬町ならではの魅力発信に取り
組んでまいります。

地域の皆さまとともに、人とまちをつなぐ活動を進め
てまいります。



9月定例会のお知らせ(予定)

日	月	火	水	9月13日は町議会議員、県知事、県議会議員補欠選挙が実施される予定です。		
27	28 本会議	29	30			
10月		火 13	水 14	木 15 本会議	金 16 本会議	土 17
日	月	火	水	木	金	土
18	19	20	21 一般質問	22 一般質問	23 一般質問	24

議会傍聴について(会議開始時刻は原則10時です。)

○議場入口にて受付票の記入をお願いしています。

○本会議は本庁舎町民ホールのテレビモニターでも生中継しています。

○YouTubeでも録画した映像を配信しております。(開催日から10営業日以内に配信開始)

※日程は変更される場合がありますので、最新の情報はホームページなどでご確認ください。

アンケートを募集します

議会広報常任委員会では、読んでもらえる「議会だより」作りに取り組んでいます。

「議会だより」についてのアンケートとご意見、ご感想を募集します。

※アンケートは、個人情報を除き全議員に情報提供いたします。



上段左から 委員/野原 邦男、島袋 稚菜、新垣 勝夫
下段左から 委員長/永山 清和 副委員長/豊川 翔平

議会広報委員会
委員長
永山 清和

令和4年9月の改選後より、
町議会広報委員会として4年
間リニューアルを重ねてまいり
ました。
次号からは、新たなメンバ
ーとなりますが、引き続き町民の
皆様に親しまれる「議会だ
より」を期待します。

編集後記